

平成25年度 第2回 地方独立行政法人新小山市市民病院評価委員会 会議要録

日 時：平成25年10月2日（水） 15：00～16：30

場 所：本庁4階 議会会議室

出席者：河野順子委員、星法子委員、松岡淳一委員、安田是和委員、山口忠保委員

【小山市】

大久保寿夫市長

【事務局（保健福祉部健康増進課緑の健康づくりの森推進室）】

栗原千早保健福祉部長、飯村智子健康増進課長、猿山悦子緑の健康づくりの森推進室長、池澤信行地域医療推進担当、関将主査

会議経過：

1. 開会

発言者	内 容
2. 委員長挨拶	
委員長	1回目の会議で方向付けができたと思いますが、2回目の会議では地方独立行政法人の評価をどのような基準のもとにやっていくかということが議題になっております。慎重なご審議をよろしく申し上げます。
3. 市長挨拶	
市長	皆さんこんにちは。本日は第2回の評価委員会にご出席賜りありがとうございます。7月29日に開催されました第1回評価委員会におきましては、新小山市市民病院より平成25年度の年度計画の説明と、第1四半期の状況報告があり、また市より、新小山市市民病院の評価基準の作成について説明させていただきました。本日の委員会では評価基準の作成について説明させていただきますので、ご審議いただきたいと思います。
3. 審議事項 地方独立行政法人新小山市市民病院の評価基準等の作成について	
委員長	それでは、審議の前に会議の公開、非公開について決定したいと思います。不都合な場合を除いて原則公開としたいが、いかがでしょうか。
	「異議なし。」の声あり。
委員長	それでは 前回に引き続きの部分がありますので1)から3)までについて事務局より説明願いたいとおもいます。
事務局	『資料説明 1)から3)』
委員長	先ほどの事務局の説明について、ご質問ご意見ありませんでしょうか。
星委員	4ページの「3 評価委員会による大項目評価」についてSからDまで数値がついているけれど、小項目での評価点にもとづいて採点するのであれば、評価委員会での評価はいらないのではないかなと思います。もちろんあった方がいいとも思います。
事務局	点数づけだけではなくて意見を付すというあたりも大きいかと思うので、併せて総合的に使っていただければと考えております。
委員	先ほど星委員がおっしゃったのはすでに評価ができているのであればということでありましたが、基本的自己評価のほかに同じ評価を評価委員会が行わなければならない。当然自己評価と我々の評価はずれる場合もあります。それについて伺いたいのが、大牟田市の例は「計画を順調に実施している」というのが4と

	<p>いう評点になっていて、他の2例は「順調にいつている」というのは3になっている。大牟田の案を採用された背景はどういうものがあったのかお聞きしたい。</p>
事務局	<p>新小山市市民病院はかなり高いハードルを前にしてのスタートだったということで、大牟田の3の表現である「計画からは下回ったが、資料や問題とならないレベル」という表現を取り入れてみたわけですが、5段階評価で3は普通という評価となると思いますが、このあたりについてご意見をいただいて修正が必要であれば直していきたいと思っておりますのでよろしくお願ひします。</p>
委員	<p>私もこの3のところは気になったのですが、もしそうであると計画に無理があったのかということが一つ、「計画に近い」とありますが近いというのをどう解釈するのかなということ、この近いという表現は複数の方々で共通理解としないといけないが、判断基準についても支障や問題とならないレベルというのがどういうことなのかということをお聞きしたいと思ひます。</p>
事務局	<p>確かにご指摘の通りあいまいな部分があるのは否めないかなと思ひます。一般的に判断できるもので、出来たのか出来なかったのかを判断するのであれば他の先行事例の様に普通を3にするのもいいのかなと思ひております。</p>
委員長	<p>5段階評価にして、4と3との微妙な差であります、いかにして職員が努力しているかとか、しかしながら結果は若干下回ってしまったという状況を踏まえてのもので、上の段階に上がるのではないかという希望的観測が含まれているのかなと感じます。</p>
副委員長	<p>この3にある「支障や問題とならないレベル」の支障や問題がどういう定義が決めないと、幅ができてしまつて評価基準が感覚的なものになりはしないかと思ひてしまふ。</p>
委員	<p>中期計画の中で25年度の目標値が出ていて、それを見ても確かに目標値が高いのかなという感じがするんですね。すでにスタートして半年近くたつていますので、市民病院の方では実際に目標値が達成できるかどうかというのは感じていると思う。例えば逆紹介率34.5%を50%にするというのだから、そこまで行けるのかというのは現状としてあると思うんですね。ただ、だからと言って併せて評価の仕方を変えていくというのは少し問題があるのではないかと、逆にいうと現実的な目標値に直していくとか、そうしないと実際の姿が見えてこない。これでいくと3が圧倒的に多くてうまく順調に言っているような感じはしない。どうなのかなという心配がある。</p>
委員長	<p>小項目評価が大項目評価につながっていくわけですから、若干誘導的な部分も出てくるのかなと思ひてします。</p>
事務局	<p>小項目評価は独法もやりますし評価委員会もやつて比較していくわけですが、特に大牟田の例に固執するわけではないですが、他の例では順調に実施しているの3に行かないと年度計画を十分に実施できていないというランクになってしまうので、努力の部分が項目別評価に現れないのかなということもあつて大牟田の評価を参考にしましたが、確かに支障や問題とならないレベルという部分のコンセンサスを得るのは結構難しいのかなという気はしております。</p>
委員	<p>計画から下回つたが、支障や問題とならないレベルというのは感覚的な表現で、例えば逆紹介率が34.5%から40%になりました、ただ目標は50%でしたとなつたとき、それは支障がないレベルなのかどうか。がんばつたなというのはわかりますけれど、どこの基準に支障がないレベルが出てくるのか非常に分かりづらい。この表現で判断しろといわれたら判断する側がまちまちになってしまう、</p>

	なかなかまとまらないのかなと思います。
委員	大牟田にも事情があったのかもしれないが、小山についてもひよっとしたら計画を高く上げすぎたのかなというものがある。6ヶ月過ぎていたので、ある程度バイアスが入った選び方だとするならば、そうではなくて、区分としては3は普通であるので結果として数値が下回ってしまったなら、初年度ですから計画が高すぎた評価も出来るし、先ほどの改善点については総括的なもので見えてくるので、初年度から3から上にしなくてはならないという思いを入れなくともいいのかなと思います。
事務局	ご指摘を頂いた点については、委員の皆様の意見をもとに普通の54321の評価に変えていくことが出来ると思いますので、ご意見をまとめていただければと思います。
委員長	この小項目評価については、曖昧さを持たせたものではなくて3が普通に計画が遂行されているという形で4がそれを少し上回っている形にするということで、皆さん合意のもとに決めたいがよろしいでしょうか。
	「異議なし。」の声あり。
委員長	それでは3を計画通りとするということでお願いします。他に意見はありますか。
委員	「第6 その他」の普段に見直し・改善をとという表現は私は聞きなれないのですが、不断というのと定期的より頻度が落ちる場合もあるかと思いますが、定期的という表現の方がいいのではないかと思います。
委員長	毎日毎日評価が変わってってしまうというのもおかしな話で、ある一定期間やってそのときの医療情勢がありますので、不断というのはなかなか困難かと思えます。定期的というほうがよろしいのではないのでしょうか。
事務局	定期的ということであれば、年度評価の後にこれでよいか確認を取るという作業でよろしいでしょうか。
委員長	定期的にやって、そこに状況を加味するというでよろしいのではと思います。
事務局	ではそのように修正を加えていきたいと思います。
委員長	その他いかがでしょうか。「1)の評価の基本方針」についてはこれでよろしいでしょうか。
	「異議なし。」の声あり。
委員長	それでは「1) 地方独立行政法人新小山市市民病院に対する評価の基本方針」については承認されました。次に「2) 地方独立行政法人新小山市市民病院の年度評価実施要領」についてですが修正案があればお願いします。
委員	先ほど法人の自己評価を修正しましたが、評価委員会の大項目評価の点数も変わってきますよね。
事務局	はい、変わっていきます。1ずつ減ります。
委員	わかりました。
委員	16 ページの第4の全体評価の具体的方法について、全体的な進捗状況について記述式による評価を行うとありますが、具体的にはどのようなことを指しますか。
事務局	これは中期目標期間の評価となりますので、年度ごとに評価したものを積み重ねて中期目標、中期計画に沿ったものだったか、全体の評価をしていく形になるかと思えます。

委員	私のイメージしていたものと今の説明はあっていると思います。
委員長	それでは2)、3)につきましてはこの形でよろしいのかなと思います。次に4) 地方独立行政法人新小山市市民病院の財務諸表の承認方針について説明願います。
事務局	『資料説明 4)』
委員長	ただいまの事務局の説明についていかがでしょうか。
委員	法人内部の監査が終わった後の話となりますので、こういった形でヒアリングを通して確認を行うという流れでよろしいかと思います。
副委員長	細かい数値に関してはプロの目を通すので問題ないと思う。5ページの全体評価の具体的方法の2の財務内容の改善等を積極的に評価することとするとありますが、どのように評価するべきなのでしょう。たとえば先進市の例があれば参考に見てみたいですが。
事務局	わかりました、大牟田市の例など資料を確認して後日送付させていただきたいと思います。
委員長	それでは、他に修正案は何かございますか、無ければ今日の審議事項は異議なしと認めていただいたということで、議事を終了したいと思います。皆様ご協力ありがとうございました。
事務局	ありがとうございました、それではその他ということで21ページをご覧ください。当初は第3回の評価委員会を計画しておりましたが、今日で全ての審議事項について全てご審議いただきましたので、今年度の評価委員会は今回が最後となります。今後は承認いただいたものについてはきちんと形にしたものを送付させていただきます。それから最後に副委員長より話のあった件についても各市の財務諸表を併せて送らせていただきます。それから来年度ですが、6月から9月が審議していただく時期になります、また評価委員会の任期については今年度までとなりますので、また推薦依頼を送付いたしますのでよろしくお願いいたします。事務局からは以上です。
司会	ありがとうございました。以上をもちまして平成25年度第2回地方独立行政法人新小山市市民評価委員会を終了と致します。大変ありがとうございました。

以上